

(別紙)

「まなび教育推進プラン」(中間案)に係るパブリックコメント
の要旨及びこれに対する府の考え方

項目	意見の要旨	府の考え方
1 学級・学習集団の規模について	<p>学習集団は、大き過ぎても小さ過ぎても教育効果が低下する。一律35人学級や30人学級を実施していくのではなく、課題を抱えた学校の学級編制の弾力化等、現実的な実施を希望する。</p> <p>30人程度の学級編制の推進はその実現が早いほど良い。</p> <p>児童が少なくなると教師の目は届くかもしれないが集団として機能するか、学校の実状にあわせた教員の配置が望まれる。</p>	<p>学級や学習集団については、全ての学校・学年・教科で画一的な規模とし、授業を行い、学校生活を送らせることが効果的であるとは言えません。御意見を踏まえ、指導内容や指導方法に応じて、また、子どもたちの個性や状況にも配慮しつつ、これまで以上に弾力的に編制できるようにすることが望ましいと考えます。</p> <p>30人程度(30～35人)の学級編制が可能な人員の確保に向け、年次的に充実していきたいと考えます。</p> <p>プランにも学級編制は「過度に小規模な学級が生じないように十分配慮するものとします」と表現されており、学習・生活集団としての機能が充実するように編制することが重要であると考えます。</p>
2 教員の配置方法について	<p>より現場の実状に明るい市町村教育委員会の教員配置裁量権を拡大することが、限られた人的資源を有効に活かす上で必要である。</p> <p>学級編制で弾力的な少人数教育の推進や、現地現場の判断を重視した柔軟な教員配置などは、有効性を発揮すると期待している。</p>	<p>京都府においては、各学校の学級数に応じて教員定数を各学校ごとに算定し、さらに、京都式少人数教育実施のための加配教員などを、市町村教育委員会との協議を踏まえ、その意思を尊重して、配置の要件やその必要度を見ながら配当しています。</p> <p>今後は、学校現場の状況に応じた教員配置が進むよう、より柔軟なシステムとすることが必要であると考えます。</p>
3 少人数教育の充実について	<p>学校では、学力の二極化、発達障害や家庭環境により、個別の支援が必要な児童が増加している。その中で、小学校低学年の複数指導や少人数授業・少人数学級は大変効果的な制度であり、さらなる充実を望む。</p> <p>京都式少人数教育のための加配教員が1名配置されているが、1名では特定の教科だけの充実に終わり、他に活かすことが困難な状況にある。</p>	<p>京都式少人数教育を実施し、児童生徒の発達段階や学年の特性に即した効果的な指導方法や指導体制を市町村教育委員会が選択して実施できるよう必要な教員を配置しています。</p> <p>今後も、現地・現場の判断を重視し、一層柔軟な方法で京都式少人数教育を推進できるよう、制度を改善し、教員配置を充実していきたいと考えます。</p>

項目	意見の要旨	府の考え方
3 少人数教育の充実について	<p>2年生の複数指導について、1学期で終了せず、3学期まで配置すべきである。また、30人以下の学級にも弾力的に配置を願う。</p>	<p>小学校低学年指導充実による、1学年と2学年の第1学期までの複数指導については、市町村教育委員会や学校から、児童の学習習慣の定着に効果があるとの評価を得ており、さらに検討を進めることが必要であると考えます。</p>
4 学習習慣の定着や自ら学ぶ力を育成する取組について	<p>まなびアドバイザーは、保護者に対して、生活習慣確立の大切さや家庭学習の進め方などを具体的にアドバイスすることで、保護者の学校に対する信頼を高めている。また、生徒指導や保護者との連携について教員への的確な支援を行っている。</p> <p>まなびアドバイザーや親のための応援塾などの取組は、各学校が自力で取組を推進できるまで、府が牽引していただきたい。</p>	<p>まなびアドバイザーについては、地域の状況を良く理解した退職教員などが就任し、学校と家庭をつなぐたり、関係機関との連携を図ったりする活動を旺盛に進めています。</p> <p>また、市町村教育委員会が開催する京のまなび教室に府の独自事業として、大学の教員や伝統工芸士等の特別講師を派遣し、子どもたちの興味・関心や学習意欲を高める取組も進めています。</p> <p>親のための応援塾については、京都府内小学校の29単位PTAで取り組まれており、学校や幼稚園・保育所等、関係機関との連携のもと、家庭での学習習慣の早期定着等を目指し、積極的に支援に努めています。</p> <p>これらの取組は、保護者や地域の大きな期待を担っており、効果的な事業の実施に努めながら一層の充実を図ることが必要と考えます。</p>